学校番号	410

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	「精選　国語総合　新訂版」（大修館）						
副教材等	『新総合　図説国語」（東京書籍）　『九訂版　読解を大切にする　体系古典文法』『漢字検定５～２級対応　常用漢字ダブルクリア』（尚文出版）　『ルート現代文の読み方』（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代文の領域では、さまざまな文章に触れることで、多様な価値観が存在することを知り、なおかつ論理的に思考することで自らの考えを深めるようにしてください。また、詩や小説を通して、他者の心情を理解し、他者の思いに寄り添えるようになるとともに、文脈をきちんととらえることができるようになりましょう。

古典の時間では、古文・漢文の理解の基礎となる文法事項を習得し語彙力の向上に努めましょう。

・予習・復習をし、自学自習を心がけましょう。

・定期考査は具体的な目標と学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

国語を的確に理解し、適切に表現する力を育み、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。さらに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	・さまざまなジャンルの文章に関心を持って取り組んでいる。 ・各単元で扱うテーマについて積極的に取り組んでいる。	・目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 ・的確に意見を聞きとることができる。	・相手や目的，意図に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えをまとめ，深めている。 ・正しい文体で書くことができる。	・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	・作品の成立背景について理解している。 ・主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。 ・文語のきまりや訓読の決まりを理解している。
評価方法	授業中の取り組みの姿勢	授業中の取り組みや態度 ノートやプリントなどの提出課題	ノートやプリントなどの提出課題	授業中の取り組みの姿勢 ノートやプリントなどの提出課題	小テスト、定期考査
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

＜現代国語＞

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	尋ねあい	・叙述に即して筆者のものの見方や考え方を読み取る。 ・「尋ねあい」の作法とはどのようなものであるかを読み取り、実際の話し合いに生かす。	○	◎	○	◎	○	ａ：互いに意見を伝える意義を理解しようと努めている。 ｂ：お互いの思いを丁寧に受け止めあいながら、グループ内で話し合っている。 ｃ：文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述ができる。 ｄ；「自由な主体」になるために必要な条件とは何かを読み取っている。 ｅ：語句の意味について正しく理解している。	授業態度 発問評価 定期考査
1	羅生門	・近代の代表的な小説を読んで、基本的な読解方法を習得する。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 ・芥川龍之介に対する理解を深める。	○			◎	○	ａ：人物の心情や行動を理解し、場面の推移を捉え、人間の生き方について自分なりの意見を持とうとする。 ｄ：下人の行動と心情の変化を、老婆とのかかわりも含め、時間に沿って理解している。 ｅ：小説の舞台となっている時代や状況についてまとめている。下人の人物像について把握している。	授業態度 発問評価 定期考査
1	詩	・詩に親しみ、形式や表現の特色を理解する。 ・作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わう。 ・作品を味わい、人生や自然に対する見方、感じ方、考え方を深める。	○			○	○	ｅ：作品の表現上の特徴（命令形、倒置など）を理解している。作品に込められた作者の思いを読み取っている。 ａ・ｄ：作品を自分に引き付けて読み、人生や生き方について考えを深めている。 ｅ：語句の意味を正しく理解している。	授業態度 発問評価 定期考査

2	水の東西	・論理の構成や展開の特徴に着目し、東西の、水と人間の関係に対する筆者の主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、考えを深め、自分の意見をもつ。	○			◎	○	ａ：ｄ：西洋と日本の、水に対する考え方のちがい、日本人の水に対する独特の好みについて関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 ｄ：文章の構成を理解し、内容の概要を把握している。 ｅ：語句の意味を正しく理解している。	授業態度 発問評価 定期考査
2	方言コスプレ現象	・日本語社会における「方言」の価値の変遷とその要因を読み取る。 ・調査結果をわかりいやすく整理し、説明する。	○	○	○		○	ａ：方言を題材にした内容に関心を持ち、主体的に取り組んでいる。 ｂ・ｃ：「方言」について身近な人々を対象にして聞き取りをし、聞き取りの結果をわかりやすく説明している。 ｅ：語句の意味を正しく理解している。	授業態度 発問評価 定期考査
2	夢十夜	・象徴性の高い小説に取り組み、その寓意を読み深める。 ・作品の構成・展開を正しくとらえ、小説の面白さ、展開されるイメージの美しさを読み味わう。	○			◎	○	ａ：独特の作品世界に関心を持って意欲的に取り組んでいる。 ｄ：冒頭の一文の位置づけと作品の構造を理解している。 ・「第一夜」全体の寓意について考えを深めている。 ｅ：語句の意味を正しく理解している。 ・作者や作品成立の背景、作者の他の作品について知識を得ている。	授業態度 発問評価 定期考査
3	技術としての教養	・現代社会で必要とされる「教養」について、筆者の考えを読み取り、問題意識を持ち、自分の意見を深める。	○			◎	○	ａ：現代社会の諸問題や、それを解決するために必要とされる能力について関心を持っている。 ｄ：現代の科学技術に対する筆者の問題意識を読み取り、筆者の主張の根拠を理解している。 ｅ：語句の意味を正しく理解している。	授業態度 発問評価 定期考査

3	短歌十五首 俳句十二句	・近代短歌・俳句に親しみ、形式や表現の特色を理解する。 ・作品に謡われているj情景や作者の心情を表現に即して読み味わう。 ・作品を味わい、人生や自然に対する感じ方・考えを深める.]	○		○	○	○	ａ：作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。。 ｃ：自分の考えをわかりやすく感想文にまとめている。 ｄ：短歌・俳句の歴史・伝統・形式を理解している。。 ｅ・近代短歌・俳句の大まかな流れを理解している。 ・それぞれの作品の作者や時代背景について理解を深めている。 ・それぞれの作品の用語・語法・修辞 などについて理解を深めている。。	授業態度 発問評価 定期考査

＜古典＞

1	宇治拾遺物語 「児のそら寝」	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 ・文語と口語の違いを理解する。	○			○	○	ａ：教材に関心を持ち意欲的に学習に取り組んでいる。 ｄ：歴史的仮名遣いの特徴とその読み方を踏まえて、本文を正しく音読している。 ・物語のおもしろさを理解している。 ｅ：平易な説話に接し、積極的に内容を理解しようとしている	授業態度 指名音読 定期考査
1	徒然草 「つれづれなるままに」 「これも仁和寺の法師」	・自然や人間に対する作者の見方、感じ方、考え方を理解する。 ・随筆の文章表現の特色について理解する。 ・古典の文法の基礎について理解を深める。	○			○	◎	ａ：作者のもののみかたや感じ方を自分と対比しながら考えようとしている。 ｄ：・本文の国政を把握し、登場人物の心情を読み取っている。 ・本文に即して現代語訳している。 ｅ：・重要古語・用言の活用について理解している。 ・『徒然草』の内容や作者についての理解を深めている。。	授業態度 発問評価 指名音読
1	漢文入門	・漢文に親しみを持つ。 ・漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解する。 ・訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。	○			○	○	ａ：漢文を学ぶ意義について理解し、関心を持って取り組んでいる。 ｄ：返り点の種類と用法・送り仮名のつけ方を理解し、訓点のついた漢文を正しく書き下し文に改めている。 ｅ：漢文は日本の国語と不可分の関係にあることについて認識ができている。	授業態度 発問評価 指名音読 定期考査

1	故事成語 「借虎威」 「漁夫之利」	・漢文訓読の基本事項を確認する。 ・平易な短い文章を読み、漢文の内容を理解する。 ・故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 ・古代中国人のものの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。	○			◎	○	a：漢文に親しみ、故事成語の成り立ちに関心を持って取り組んでいる。 d：故事成語のもとになった話の内容を捉えたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解している。 ・平易な漢文に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 e：・訓読の市から・書き下し仕方を理解している。 ・重要語句の意味を理解している。	授業態度 発問評価 定期考査
2	竹取物語 「なよ竹のかぐや姫」	・『竹取物語』に始まる物語文学について理解を深める。 ・物語の設定や場面描写、登場人物の行動や心情を理解する。 ・古典文法の基礎を復習しながら定着させる。	○			◎	○	a：日本最古の物語であることに関心を持ち意欲的に学習に取り組んでいる。 d：・重要古語や助動詞等に注意しながら本文に即して現代語訳している。 ・『竹取物語』の伝奇的性格を読み取り理科している。 e：重要古語・主な助動詞について理解している。 ・『竹取物語』の内容や文学史上の意義についての理解を深めている	授業態度 発問評価 定期考査
2	伊勢物語 「芥川」 「筒井筒」	・登場人物の性格や心理の動きを読み取る。 ・文章中の和歌の役割について理解する。 ・古人の旅についての理解と認識を深める。 ・古人の恋愛の過程や結婚制度についての理解と認識を深める。	○			○		a：歌物語の特徴について理解し、興味・関心を高めている。 d：古文や和歌に親しみ、登場人物の心情について考えようとしている。 ・個々の章段で和歌の果たしている役割を理解している。 ・和歌の修辞技巧と意味を理解している。 ・重要古語・用言の活用について理解している。 ・旅や恋愛・結婚など、現代とは異なる当時の時代背景への理解を深めている。	授業態度 発問評価 定期考査
2	土佐日記 「門出」	・日記を読んで、人間・社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉	○			◎	○	a：女性に仮託した作者の創作意図に関心を持ち、内容把握に努めている。 d：作者の観察眼や機知に富む文章表現の効果を理解している。	授業態度 発問評価 定期考査

		える。 ・文章の表現上の特色を理解する。 ・助動詞の識別について理解し、口語訳に生かす。						・重要古語や古典文法に注意しながら本文に即して現代語訳している。 ｅ：・重要古語や敬語、助詞・助動詞について理解している。 ・『土佐日記』の内容や作者、成立背景などを把握し、文学史的意義について理解している。	
3	漢詩の鑑賞 「静夜思」 「春望」	・唐詩を読み味わい、中国古典文学への関心を高める。 ・中国の自然や、人間の心理が詩にどのようによまれているかを考える。 ・漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句）について理解する。 ・詩に表現された作者の心情について理解する。	○			○	○	ａ・唐代の漢詩の世界に関心を持ち、日本の文化との関わりについて理解しようと努めている。 ｄ：詩にうたわれた情景について理解し、それに対して人が抱くイメージ・心情をつかんでいる。 ｅ：漢詩のきまり（詩形・押韻・構成・対句）について理解している	授業態度 発問評価 定期考査
3	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	古典詩歌を繰り返し音読し、和歌の韻律を味わうとともに、詠われた情景や心情を理解する。 ・和歌の発想やそれぞれの歌集の表現技法を理解する。	○			○	○	ａ：和歌について関心を持ちそれぞれの歌集の作新の特徴について理解に努めている。 ｄ：歌の内容や優れた表現について理解している。 ・歌に詠まれた情景や心情を読み味わっている。 ｅ歌の形式や修辞法について理解している。	
3	先従隗始	・長い文章を読み、漢文の読解に慣れる。 ・様々な人物像を通して、人間の生き方について考えを深める。 ・漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。	○			○	○	ａ：登場人物の関係やそれぞれの心情について考えようとしている。 ｄ：長い文章を正確に読み、大意を把握している。 ｄ：登場人物の行動や心情・性格を読み取っている。 ｄ歴史物語のおもしろさを読み味わっている。 ｅ：・本文に描かれた様々な人物像を通して、人間の生き方について考えを深めている。 ・重要な句法や助字を理解している。	授業態度 発問評価 定期考査

※　年間指導計画　作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○または◎を付けている。